

よみきかせボランティアのための



おすすめえほん

小学1・2年に
おすすめ

『かずあそび ウラパン・オコサ』

谷川晃一／作 童心社(約3分)



1と2の組み合わせだけでいろいろな物を数えていく絵本。1がウラパン、2がオコサ、3はオコサ・ウラパン、4はオコサ・オコサ。「オコサ・オコサとぞうがきたぞう」「のはらにやぎがオコサ・オコサ・ウラパン」と、ユニークな数遊びは、聞き手も一緒に声に出してくれることも。読み応えのある絵本と組み合わせよう。

2015
夏号



子どもに読み聞かせをする人のための 参考資料①

『えほんのせかい
こどものせかい』
松岡享子／著
日本エディタースクール出版部

子どもの読書についての基本的な大人の態度を、やさしい語り口で書いた必読書。



『かもさんおとおり』

ロバート・マックロスキー／文・絵 わたなべしげお／訳
福音館書店(約11分)

巣をつくる場所を探してボストンまで飛んできたカモのマラードさん夫婦。川の中州で8羽のヒナが生まれ、泳ぎや歩き方が上手になると、一家で公園の池に引っ越すことに。一家は一列に並んで街じゅうを大行進。大通りや交差点を横切るカモの一家でボストンの街は大わらわ。



小学3・4年に
おすすめ

小学5・6年に
おすすめ

『ふるやのもり 日本の昔話』

瀬田貞二／再話 田島征三／絵 福音館書店(約8分)

ある雨の晩、じいさんとばあさんの家に馬泥棒と狼がそれぞれ忍び込む。おじいさんとおばあさんが、この世で一番怖いのは泥棒よりも狼よりも「ふるやのもり」だと



話すのを聞いた馬泥棒と狼は、雨漏りのしづくに驚き、家を飛び出して……。ダイナミックな土臭い絵が、ユーモラスなほら話にぴったりの昔話絵本。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

子ども室カウンターでも、ご質問などをお伺いしています。



発行：福井県立図書館子ども室
(2015.6発行)

〒918-8113 福井市下馬町 51-11
Tel. 0776-33-8860

福井県 図書館

検索